

# いっすま Smile

## スポーツで岩国を元気にしたい

Vol.114

村元 雅晴さん  
(川下町在住)

岩国市スポーツ推進委員協議会会長。70人の委員と共に、地域に根ざしたスポーツを広める活動を行う。他にも岩国市地球温暖化対策地域協議会の副会長を務めるなど、幅広く活動している。



▼ニュースポーツ「パター・de・ビンゴ」のルールを他の委員と話し合う村元さん



スポーツで楽しく岩国を盛り上げる活動をしているのは、スポーツ推進委員協議会会長の村元雅晴さんです。体を動かすことが好きな村元さんは学生時代には水泳やテニスなどに打ち込み、就職先は多くの実業団を抱えスポーツが盛んだったことから、スポーツはいつも身近にありました。27年前に市民にスポーツの実技指導などをす

る体育指導委員になり、5年前にスポーツ推進委員に名前が変わつてからは、簡単に楽しめることを目的として作られたニュースポーツを地域に広める活動も始めました。

「スポーツは運動神経が良い人だけのものではありません。ニュースポーツはルールを知つていれば年齢に関わらず誰でも楽しめます」。公園などで大人も子供も気軽に交流して地域のつながりを作りました。

いと、自治会や放課後児童教室に赴き、幅広い世代にペタンクやカローリングなどを紹介しています。

子供から高齢者、市民や外国人など、みんなで仲良く笑つて体を動かしてもらいたいという思いから、スポーツと健康づくりが一体となつたスポーツイベント

や国際交流ができるリレーマラソンなどの企画に、さまざまな分野の組織と連携して携わりました。

昨年会長に就任した直後、中国地方から約千人のスポーツ推進委員が集まる大会が岩国市で行われました。各地から集まつた委員に岩国の魅力を伝えたいと試行錯誤し、観光ガイドを入れた錦帯橋ウォーキングを開催しました。

「岩国には新しくできたスポーツ施設の他に、観光や歴史、国際交流などいろいろな資源があります。その資源を活用して、さまざまな人が交流できる仕組みを取り入れたいです」と、他にはない岩国ならではのスポーツの企画に意気込みます。

「交流で人のつながりができる人と人が豊かになります。これからもスポーツ推進員のみんなといろんなアイデアを出し合つて、スポーツで新たな交流のきっかけづくりをしたいです」



▲絆スタジアムで開催された日米親善リレーマラソン



▲健康づくりとスポーツのイベントでは、体力測定のブースを担当